

ダクト発生 4 - 8 & 6 - 1 エリア間オープン

2007年 5月 8日 ~ 5月10日 JG0TEV 中村

5月8日のダクト発生域 (推定)



ダクト発生による4~8エリアオープンが確認されました。
JG0TEVバンド内ワッチ
9エリア9.76レピータがアクセスできます。
その後ろから3エリア同士の交信が聞こえました。
たぶん美方郡の9.76レピータと思います。
朝から0~9オープン中！自宅長岡市から高岡レピータ帰ってきます。(7:14)
移動運用はできず。

J07IZC須藤さん情報・・・
ここからは、4が強い(7:29)

JM4KBL澤田さん情報・・・
8レピータバリバリ入ってくる(22:44)
9,0,7のレピータも帰ってくる。(22:56)
8より弱いですが、佐渡と本荘はピームとプリで59+20db、
檜山JP8YCVフルスケ(23:15)

5月9日のダクト発生域 (推定)



ダクト発生による9~7エリア間オープン、6~1エリア間オープンが確認されました

J07IZC須藤さん情報・・・
7~9オープン(6:50)
午前中のオープンは、すごかったよ！相手は、いなかったけど。
8時40分には一時的ですが、22香川県小豆郡のレピータも今年、
初めて確認。
昼頃までは長野、石川までフルオープンでした。
久しぶりにサブがない状態でした。(19:09)
4エリア返ってくるよ~(19:59)

JM6WRH 平さんからの太平洋ダクトオープン情報・・・
中村さん、こん00は、JM6WRH平です。
今年も宜しくお願いします・先日8日の夜と9日(午前・夜)
オープンしましたのでお知らせします。全体(SSB・FM)では
1エリア101局 2エリア-35局、3エリア-11局、4エリア-3局、
5エリア-1局、6エリア-3局、0エリア-1局の155局
との交信ですが、パワーが50Wでしたので入れていません。

下記の交信は約20W IC-706mk と31ELX1(常備ANT)
プリON 予定外のスクランブル運用でした。
運用地は鹿児島県大島郡龍郷町 海拔約350mです。

ナイトの運用は奄美市から31ELX2 50W プリON
IC-910D 最長DXはJS1EVP(茨城県潮来市)でした。

5/9交信記録

10:20	JQ6LOA/6(宮崎県日南市)	-JM6WRH(鹿児島県大島郡)	RS59-55	FM
10:28	JH3QYM	-JM6WRH(鹿児島県大島郡)	RS55-55	(*SSB)
10:38	JQ2XYK	-JM6WRH(鹿児島県大島郡)	RS59-55	FM
10:45	JL2XMW	-JM6WRH(鹿児島県大島郡)	RS59-59	(*SSB)
10:55	JH2HNR	-JM6WRH(鹿児島県大島郡)	RS59-59	(*SSB)
10:59	JP1VVM	-JM6WRH(鹿児島県大島郡)	RS55-55	(*SSB)
11:13	JF1YFF/1(千葉県千葉市)	-JM6WRH(鹿児島県大島郡)	RS59-59	(*SSB)
11:16	JK1KTY	-JM6WRH(鹿児島県大島郡)	RS55-55	(*SSB)
11:23	JQ2GWH	-JM6WRH(鹿児島県大島郡)	RS55-55	(*SSB)
11:33	JP2JNU	-JM6WRH(鹿児島県大島郡)	RS59-59	(*SSB)
11:37	JE6NFU	-JM6WRH(鹿児島県大島郡)	RS59-59	(*SSB)

5月10日のダクト発生域(推定)



ダクト発生による9-7エリア間オープンが確認されました

JM7BWU佐々木さん情報・・・
 今朝は7-0間でのオープンを確認しました。時間がなく、満身に確認できませんでしたが、26佐渡、22出雲崎、60新潟市内は開いていたようです。昨夜はオープンしていなかったようですから、深夜～早朝にかけて開き始めたようですね。(12:05)
 朝方のダクトですが、私自身は仕事で未確認ですが、昼頃までどうやら発生していた可能性があります。
 家族曰く、地デジ電波(NHK秋田とNHK新潟、ABSとBSN)が混信して、テレビが全く受信できなかったとか。
 よっぽど新潟波が強力に混信しない限り、受信できなくなるということはないので、範囲はわからないものの、発生していた可能性が濃厚です。(22:26)

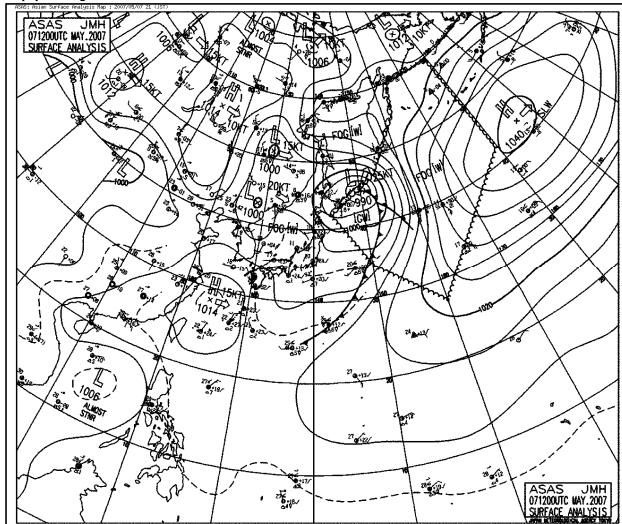
J071ZC須藤さんからの情報・・・
 能登半島まで広範囲に、渡ってオープン中!
 0-9のモバイルがガンガン入ってきます。サブが無い(T_T)(10:44)

気象解析

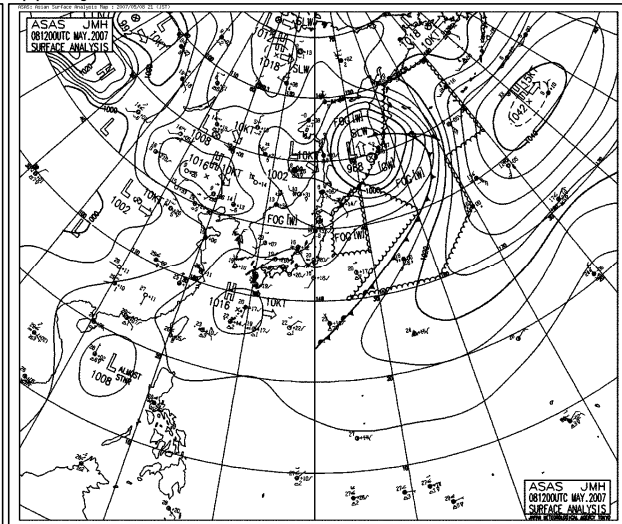
地上天気図をみると7日から9日にかけて高気圧が勢力を強めながら南西諸島付近から本州の南海上を移動したことがわかります。北日本では7日までに気圧の谷が通過したあと、8日までの気圧の上昇量がおおきかったことがわかります。850hpa面解析図から期間を通して湿数10度以上の乾燥空気が流れ込んでいたことがわかります。

地上天気図

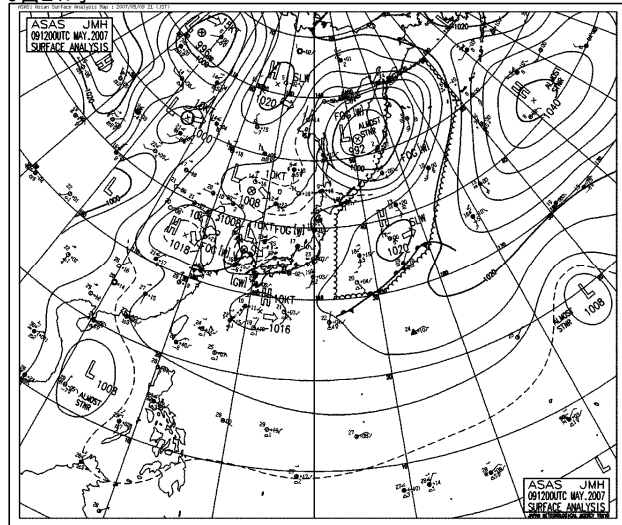
7日21時



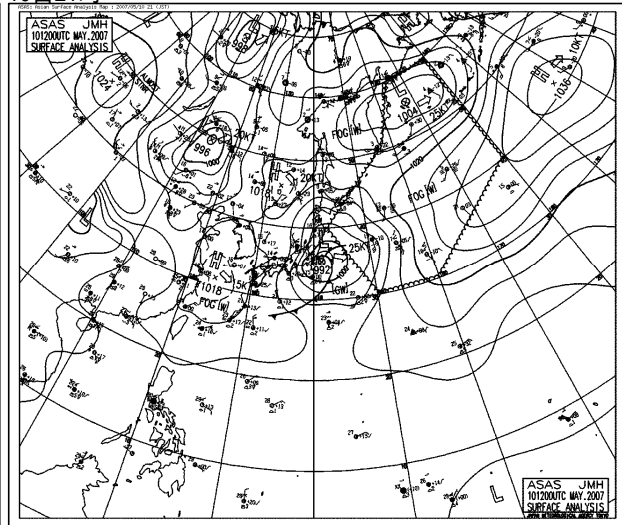
8日21時



9日21時

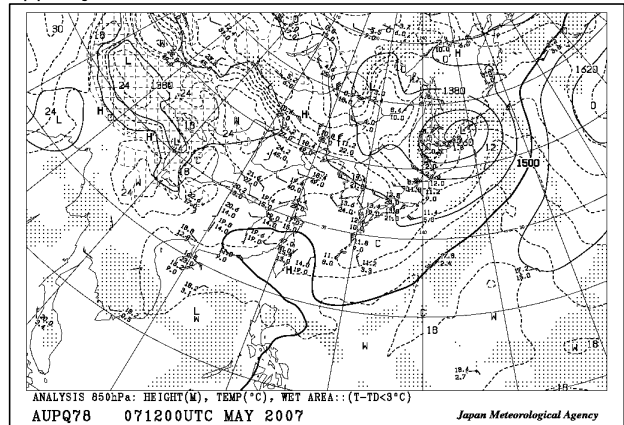


10日21時

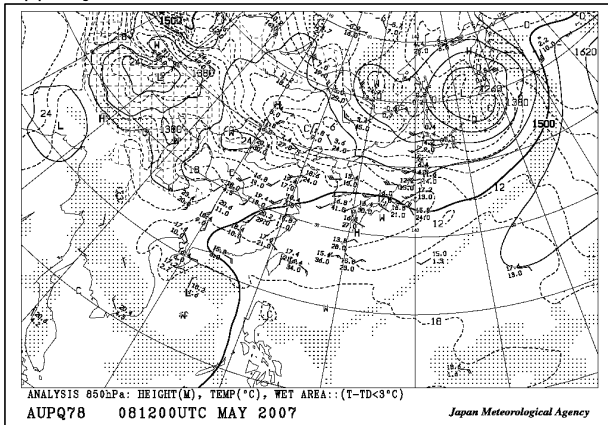


850hpa面高度・気温・湿数

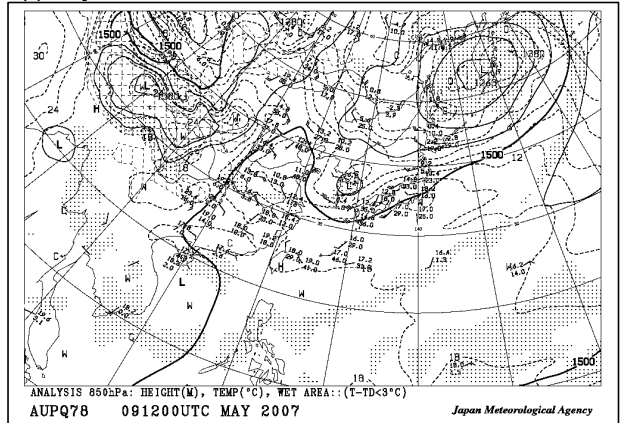
7日21時



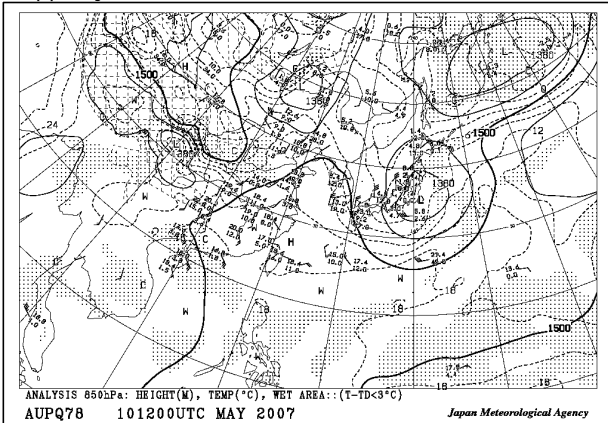
8日21時



9日21時



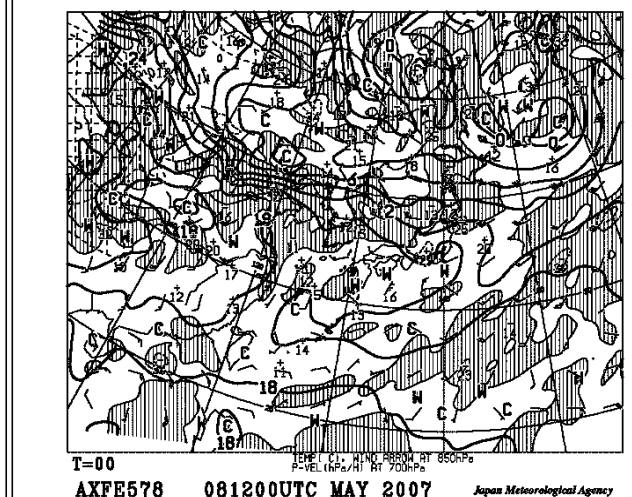
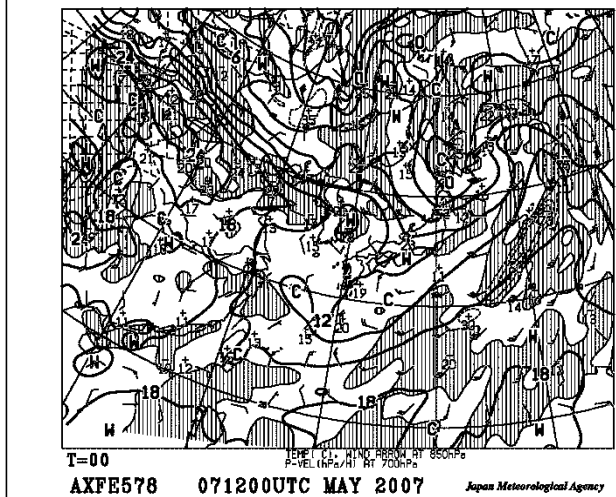
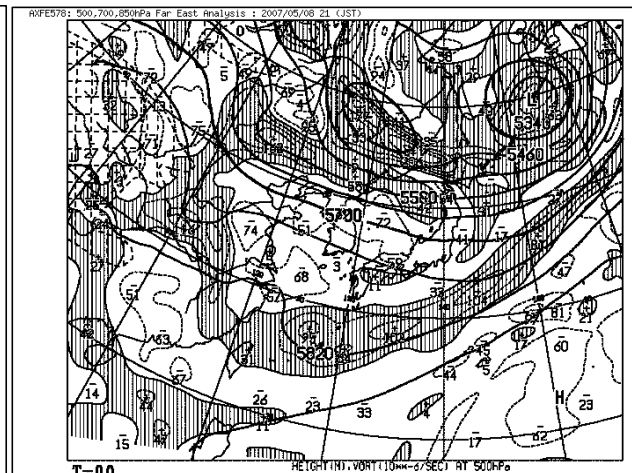
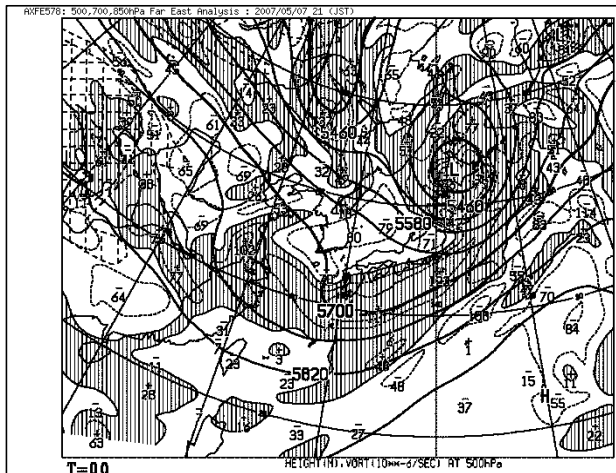
10日21時



500hpa面解析図から、7日から9日にかけて上空の負渦度領域が日本付近を西から東に移動していたことが解析できます。
 700hpa面解析図から、日本付近は暖気移流に対応して上昇流域に広く覆われていたことがわかります。
 一方、海面温度は低く日本海中部の海面温度が10度前後であるのに対して気温は上昇して新潟市で23.0度を記録するなど、冷たい海面温度に対して気温が十分に高くなっていたことがわかります。
 太平洋でも南西種痘の東海上に21度の冷水域が広がっていて、本州南部の各都市の最高気温は海面温度より8度～10度ほど高い状態であったことがわかります。
 以上から、冷たい海面にあたたかい空気が一様に流れ込んだことで広い範囲で逆転層が形成されやすくなったと推定します。

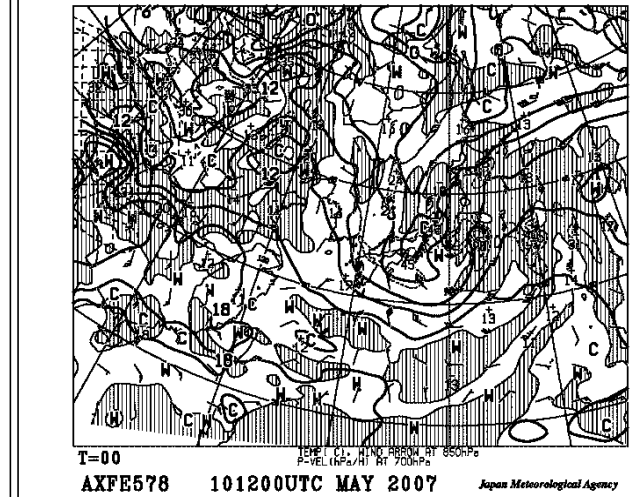
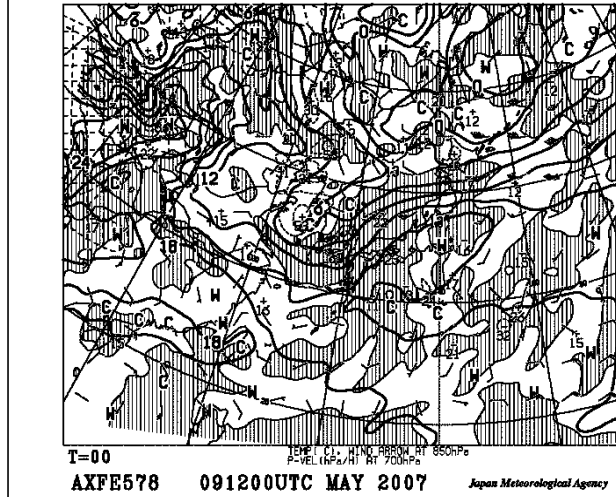
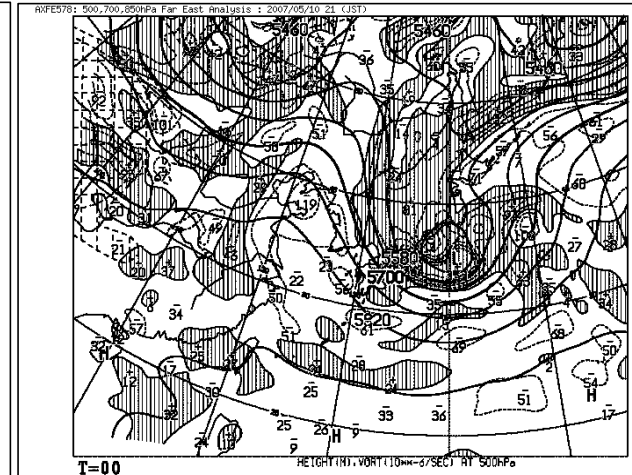
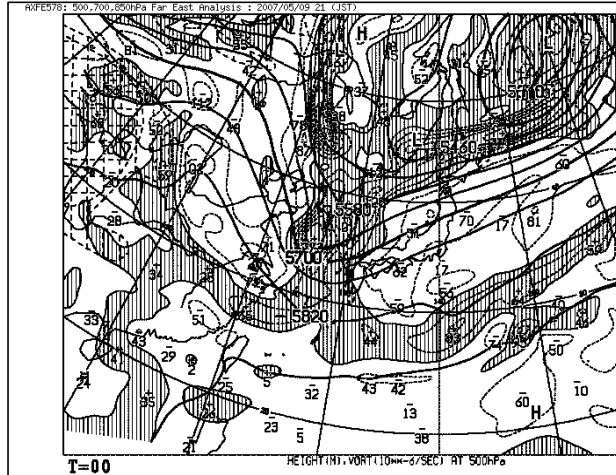
500hpa面高度と温度・700hpa面鉛直流と850hpa面気温
7日21時

8日21時



9日21時

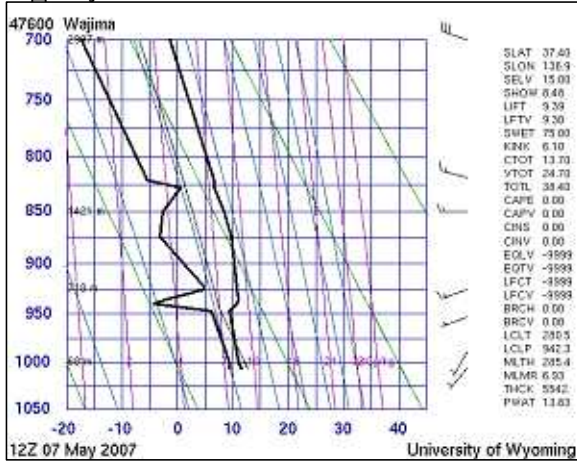
10日21時



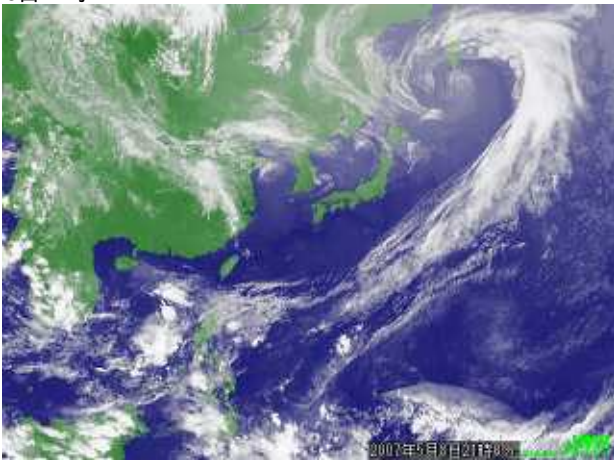
【参考】赤外線雲画像
7日21時



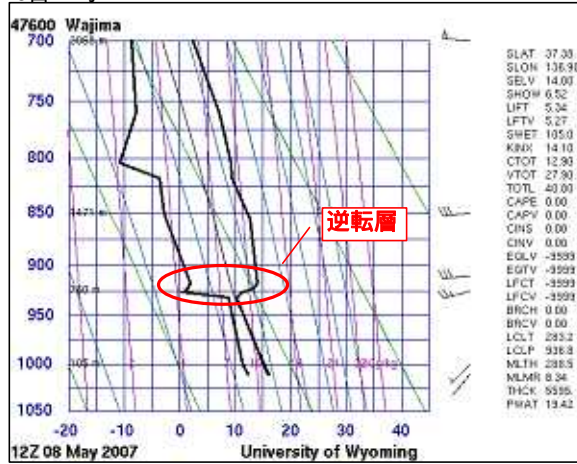
【参考】エマグラム
7日21時



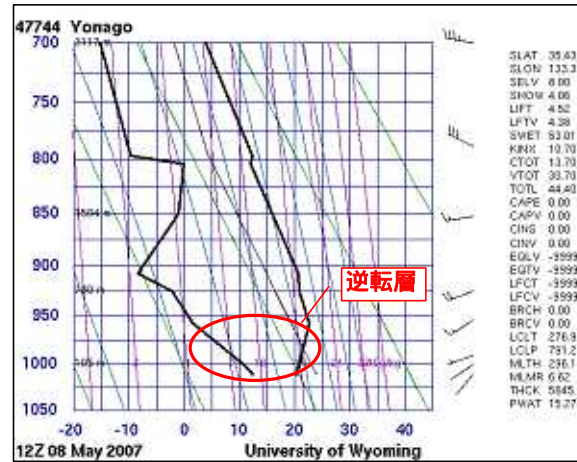
8日21時



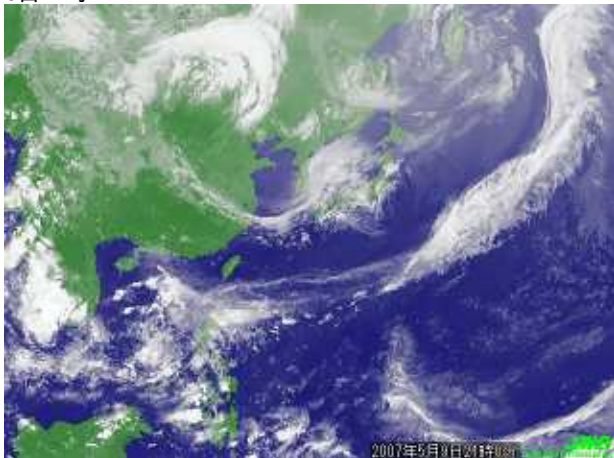
8日21時



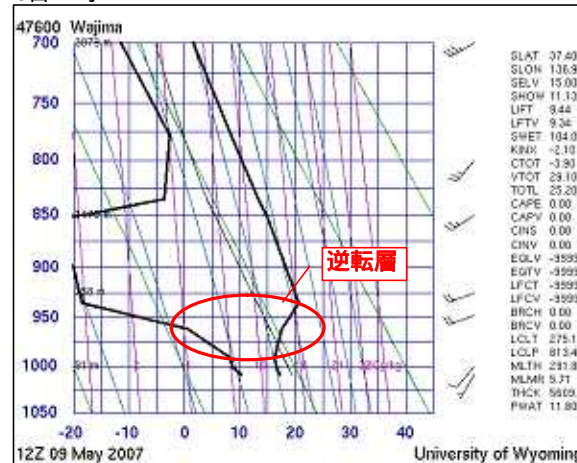
8日21時

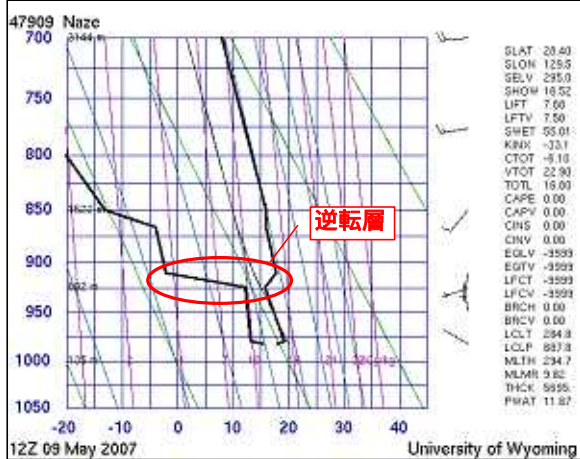
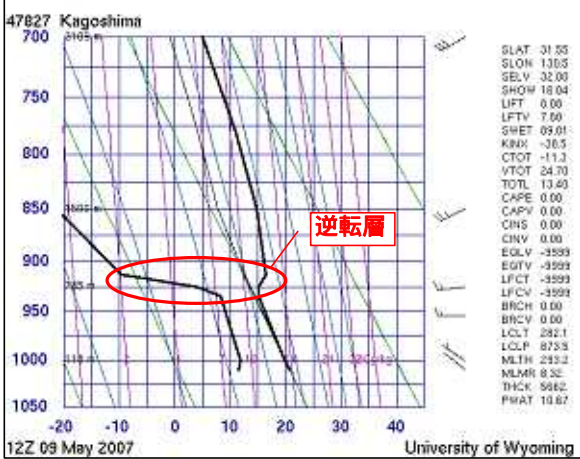
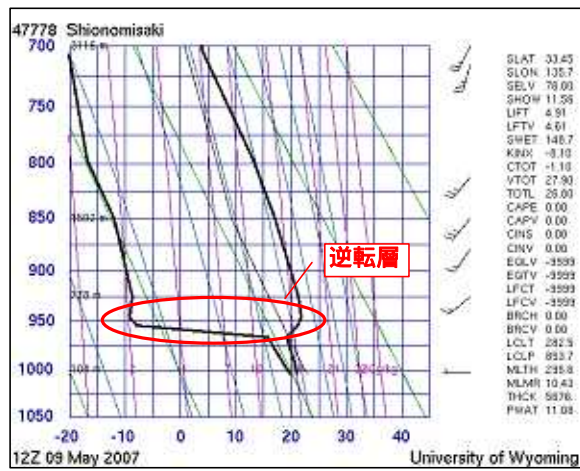
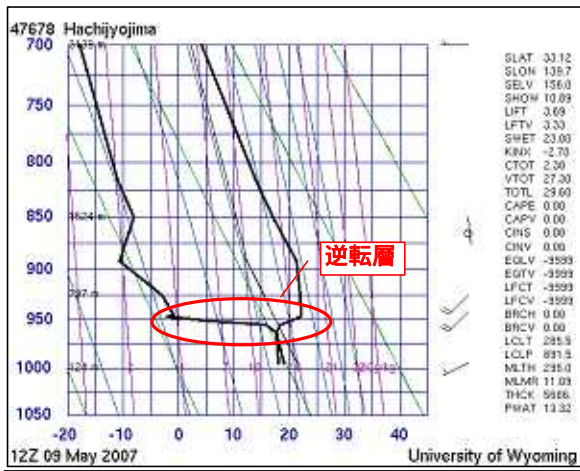


9日21時



9日21時

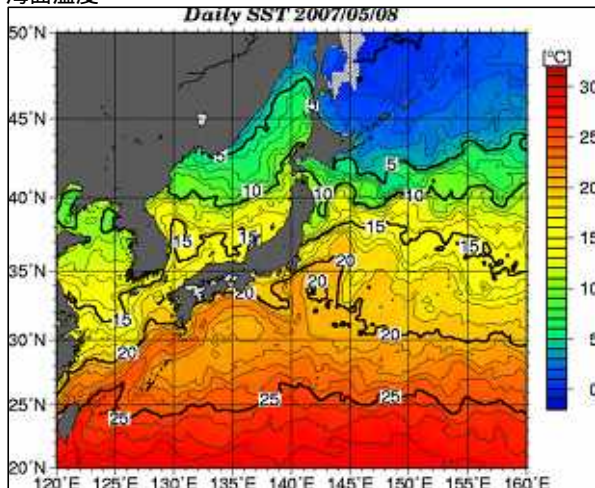




10日21時



海面温度



5月8日の最低・最高気温

	天気(9時)	最低気温	最高気温
札幌	晴	6.1	14.3
仙台	快晴	8.9	18.9
新潟	快晴	10.6	25.2
東京	曇	15.5	25.6
名古屋	快晴	13.1	29.1
大阪	快晴	14.8	27.2
広島	快晴	13.7	27.0
高知	快晴	13.1	26.8
福岡	快晴	15.6	28.3
那覇	快晴	17.4	25.7

日本海ダクトが広範囲に発生した8日は、最高気温が海面温度より10度近く高くなっていた

5月9日の最低・最高気温

	天気(9時)	最低気温	最高気温
札幌	晴	9.4	16.6
仙台	快晴	12.2	22.8
新潟	晴	13.6	25.8
東京	快晴	18.8	28.8
名古屋	快晴	16.5	31.5
大阪	快晴	16.8	30.4
広島	晴	14.1	27.8
高知	快晴	14.2	28.3
福岡	晴	15.9	25.9
那覇	晴	18.4	26.3

太平洋ダクトが広範囲に発生した9日は、最高気温が海面温度より8度~10度近く高くなっていた